

2010年度 京都学園大学 大学院
入学試験要項

バイオ環境研究科
博士課程前期



アドミッションポリシー

- バイオサイエンスに強い関心を持ち、生命現象や生物の機能を生物学的、化学的なアプローチによって解析し、人類の快適で健康、かつ安全な生活に応用する最先端のバイオ技術やそれを応用する産業に意欲をもって携わりたい学生。
- 自然と科学に興味をもち、現代の豊かな物質文明の成果を批判的に継承しつつ、自然のしくみを生かして人と生き物が共生する環境の設計とそれに必要な技術を開発することによって、持続可能な地球環境と地域社会を建設していくバイオ環境デザイナーをめざす学生。
- 地球環境保全に強い関心を持ち、バイオ技術を応用して環境保全技術の開発やエコ製品の生産などに意欲的に携わる地球に優しいグリーンバイオ技術者を目指す学生。
- 地球環境の保護や再生、生物資源の保全や利用、環境にやさしい素材や新エネルギーの開発、農業や林業、水産業のあり方を考えながら、町おこし・村おこしなどバイオ環境デザインを積極的に学びたい学生。

要項

1. 募集研究科及び募集定員

研究科	専攻	課程	募集定員
バイオ環境研究科	バイオ環境専攻	博士課程 前期	20名

募集定員には外国人留学生・社会人等の志願者も含むものとし、特段の配慮は行いません。

募集定員はA・B・C日程の合計です。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは平成22年3月末までに該当見込みの者

- (1) 大学を卒業した者（学校教育法第102条）
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者（同施行規則第155条第1項第1号）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（同施行規則第155条第1項第2号）
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（同施行規則第155条第1項第3号）
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（同施行規則第155条第1項第4号）
- (6) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校課程一覧）を修了した者（同施行規則第155条第1項第5号）
- (7) 旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第1号）
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- (9) 本大学院において個別の入学資格審査により認められた者（同施行規則第155条第1項第8号）
- (10) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本大学院において認められた者

上記(9)(10)により出願するものは事前に個別の出願資格審査（P4 個別の出願資格審査について参照）を受けなければなりません。該当する者は、個別の出願資格審査受付日前に入試課へ申し出てください。

3. 日程

	出願	試験日	合格発表日	1次手続	2次手続
A日程	2009年11月20日(金)～12月2日(水) ※12月3日(木)・4日(金)は持参のみ可	2009年 12月12日(土)	2009年 12月22日(火)	2010年 1月15日(金)	2010年 2月5日(金)
B日程	2010年1月8日(金)～1月20日(水) ※1月21日(木)・22日(金)は持参のみ可	2010年 1月31日(日)	2010年 2月10日(水)	2010年 2月26日(金)	2010年 3月12日(金)
C日程	2010年1月29日(金)～2月10日(水) ※2月12日(金)は持参のみ可	2010年 2月21日(日)	2010年 3月2日(火)	2010年 3月12日(金)	2010年 3月26日(金)

4. 選考方法

筆記試験、面接試験、書類審査により総合的に判断します。筆記試験は英語と専門科目について行います。なお、実用英語技能検定準1級の合格者、TOEIC740点あるいはTOEFL554点以上の高得点者で、その申告があれば英語試験を免除します。専門科目については次項試験科目等[専門科目]に示す10分野のうち2分野の問題を、試験時間中に選択し解答してください。

5. 試験科目等

時間	試験	
9:30～11:00	筆記試験「英語」	英和辞書の持ち込み可（ただし電子辞書は不可）
11:15～12:45	筆記試験「専門科目」	下記に示す10分野のうち2分野の問題を選択し解答する
13:30～	面接	学力およびそれに関する事項

[専門科目]

分野	出題範囲キーワード
生物有機化学	有機化学(反応機構、機器分析を含む)、化学生態学、生物機能有機化学
生化学・分子生物学	分子生物学、生化学
応用微生物学	発酵醸造学、応用微生物学、環境微生物学
食品・栄養科学	食品化学、生化学
植物生理生化学	植物ホルモン、葉緑体と光合成、植物栄養、二次代謝
水循環	流域思考、流域管理、風景・景観
応用生態学	都市緑化、ビオトープ
生態環境保全	持続可能性、生物多様性
地球環境科学	エコマテリアル学
生物資源	バイオマス利用工学、環境工学

6. 試験場

本学

7. 出願書類

- ① 入学願書(志願票・写真票)
- ② 卒業証明書または卒業見込証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
- ③ 成績証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
- ④ 卒業論文概要または実験、実習、演習概要書
A4横書き 1,000字以内(図表を含む) 志望専攻・志望研究分野・氏名付記
- ⑤ 個人調書(本学所定の用紙)
- ⑥ 英語について免除を希望する場合は、その資格を証明する書類(コピー可)
- ⑦ 官公庁、企業などに在職中の者は、所属長の受験承諾書
- ⑧ 外国人留学生の場合は、経費支弁能力を証明する書類(通帳のコピー)

8. 入学検定料

35,000 円

9. 出願の方法・注意事項

- ① 同封の願書により入学検定料 35,000 円を出願期間内に本学指定の銀行口座に「電信扱い」で振り込んでください。本学入試課へ持参する場合は現金持参可能です。納入された検定料は理由の如何を問わず返還しません。
- ② 出願に必要な書類を所定の封筒にて、出願期間内に書留速達で郵送してください。本学入試課へ直接持参することも可能です。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は受験を認めません。また、受験後に判明した場合には、受験を無効とし、合否の判定及び入学を取り消します。
- ④ 身体に障害のある者で、受験上の特別の配慮を希望する場合は、事前に本学入試課に申し出て下さい。

10. 合格発表

合否結果は郵送にて通知します。電話等による問い合わせには一切応じません。入学手続等については、合格通知に同封している入学手続要項を参照してください。

個別の出願資格審査について

個別の出願資格審査を必要とする方は、以下の手続に従って事前審査を受けてください。なお、個別の出願資格審査を受けようとする場合は、各書類を郵送する前に本学入試課へ申し出を行い、申請書類の種類の確認を行ってください。特に申請書類(2)(3)については、発行する学校によって名称が異なる場合があるので注意してください。

1. 申請期間

A 日程：2009年11月4日(水)～11月11日(水)

B 日程：2009年12月9日(水)～12月18日(金)

C 日程：2010年1月29日(金)～2月10日(水)

いずれも期間内必着で、書留にて郵送してください。封筒には「大学院出願資格認定申請書在中」と明記してください。

2. 申請書類

出願資格(9)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書、本学所定様式)
- (2) 最終学歴の卒業証明書もしくは在籍証明書(退学・除籍等の証明書で在籍期間が明記されたもの)
(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (3) 最終学歴の成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)

出願資格(10)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書、本学所定様式)
- (2) 在籍証明書(在籍期間が明記されたもの)
- (3) 成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (4) 3年次における修得見込み科目・単位数(本学所定様式で本人の申告による)

なお、この出願資格による入学試験合格者は仮合格者であり、3月末に3年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、2010年3月26日(金)までに成績証明書を提出してください。また仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であったものから選抜されます。

学費等

		年額	年額内訳			備考
			入学手続時		10月納付	
			1次手続	2次手続		
入学金		200,000	200,000			入学時のみ 京都学園大学卒業者は 100,000円に減免
学費	授業料	950,000		475,000	475,000	
	施設設備費	330,000		165,000	165,000	
	実験実習費	170,000		85,000	85,000	
	小計	1,450,000		725,000	725,000	
合計		1,650,000	200,000	725,000	725,000	

入学辞退

2次手続完了後に、入学を辞退する場合には、2010年3月末日までに書面で申し出ることが必要です。その場合に限り入学金以外の納付金(2次手続分)を返還します。詳細は合格通知に同封する入学手続要項を参照してください。

研究科の概要

研究分野	研究内容
生物有機化学	抗生物質、ホルモン、フェロモン、摂食阻害物質など、さまざまな機能を持つ化学物質の構造を解析し、その働きを探求します。さらに、医薬や農薬への応用を検討し、人々の健康、快適な生活への貢献を目指します。
応用生化学・遺伝子機能学	遺伝子やタンパク質と環境の変化との関係を最先端解析装置で分析。遺伝子の潜在的な資源としての可能性に着目、酵素、代謝、生体反応の基礎と応用、遺伝子の機能などの研究。遺伝資源の活用を追求します。
微生物機能開発学	細菌、酵母、カビなどの持つ有用な能力の探索とその開発。微生物の力を利用し、環境にやさしいモノづくり、有害物質の無害化による環境修復技術（バイオレメディエーション）を追求します。
食品機能・健康科学	環境に優しい食品加工技術、最先端の分析技術、濃縮・分離・精製技術および新たな機能評価方法を駆使して、新しい食品素材を開発・研究します。その成果を健康的な食品製造や、医薬産業・化学産業へ応用します。
植物バイオテクノロジー	太陽エネルギーと二酸化炭素を使って有用な物質を作る能力、環境浄化能力、共生能力など、植物のもつさまざまな機能や能力を研究。その能力を食糧・資源・地球環境における、さまざまな問題の解決に役立てます。
流域環境デザイン	河川環境・流域思考を深めつつ、保全的に生態系サービスを引き出す技法を追求します。また、風景・景観学および水環境をめぐる緑の土地利用学を足場にして、市民社会にとっての公共圏である流域社会を多様にデザインしていきます。
農・森林環境デザイン	野生生物を保全する環境づくり、里山のあり方などを調査し、農業と自然環境が共存する方法などを探ります。さらに環境に優しい森林計画や農業のあり方を研究し、自然との共存を追求します。
都市自然化デザイン	都市に緑をどのような方法で取り入れていくか。都市と自然環境をどのように共存させていけばよいのか。住環境のあり方、都市廃棄物の問題、街づくりまで、理想の都市環境を追求します。
エコマテリアル	環境に優しい物質、素材（エコマテリアル）の探索から、理想的なリサイクルのしくみの開発まで、地球環境への負荷を低く抑える環境材料の合成、解析、応用を研究します。
バイオマス高度化利用	地球環境と地域環境の改善を目的として、生物資源（農産資源、林産資源、生ゴミなど）をエネルギー源や材料源として有効に利用するための研究に取り組みます。

個人情報の取り扱いについて

受験生の方からご提出いただいた出願書類により、本学が保有した個人情報は、以下のように利用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

- (ア) 出願書類に不備があった場合に当該受験生に連絡を取り、指導します。場合によっては、当該受験生の所属する大学等に連絡を取ります。
- (イ) 受験票を当該受験生に送付します。
- (ウ) 合否通知を当該受験生に通知します。
- (エ) 合格者に入学手続き書類等を送付します。
- (オ) 個人を特定しない集計処理をします。
- (カ) 入学式の案内、学生総合保険等を送付します。
- (キ) 入学後の各種案内を送付・連絡します。
- (ク) 入学後の名簿作成・修学指導等に利用します。
- (ケ) 個人情報および入試結果のデータ処理を業者に委託する場合があります。なお、受託業者は、上記の情報およびデータを京都学園大学が明示する用途のみに使用し、受託業務を超えて利用することはありません。本学は、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準にしています。

出願に係わる個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、①法令に基づく場合、②個人の生命・身体又は財産の保護のために必要がある場合であって本人の同意を得ることが困難であるときなど、個人情報保護法並びに学校法人京都学園個人情報の保護に関する規程に定める特段の事情がある場合は、この限りではありません。

なお、出願に係わる個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

京都学園大学 入試課

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷 1-1

TEL0771-29-2222(入試課直通)

<http://www.kyotogakuen.ac.jp/>